

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-68949 (P2020-68949A)  
 【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-018  
 【出願番号】特願 2018-203524 (P2018-203524)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 28 日 (2021.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、  
始動口への遊技球の入球に起因して、前記登録設定値に応じた確率で大当たりの当否判定を行う判定部と、  
前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、  
前記大役遊技の実行中に、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行し得る演出制御部と、  
を備え、  
前記大役遊技は、  
前記大入賞口が開放される複数のラウンド遊技と、前記ラウンド遊技間において前記大入賞口が閉鎖されるインターバル期間とが設けられており、  
前記演出制御部は、  
前記インターバル期間において前記示唆演出を実行可能とする遊技機。

【請求項 2】

設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、  
始動口への遊技球の入球に起因して、前記登録設定値に応じた確率で大当たりの当否判定を行う判定部と、  
前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、  
前記大役遊技の実行中に、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行し得る演出制御部と、  
を備え、  
前記大役遊技は、  
前記大入賞口が開放される複数のラウンド遊技と、前記ラウンド遊技間において前記大入賞口が閉鎖されるインターバル期間とが設けられており、  
前記演出制御部は、  
前記ラウンド遊技において規定数を超えて遊技球が前記大入賞口に入球するオーバー入

賞の報知を実行可能であり、

前記オーバー入賞の報知により前記示唆演出を実行可能とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、登録設定値が記憶される記憶部が設けられた遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、始動口への遊技球の入球に起因して、前記登録設定値に応じた確率で大当たりの当否判定を行う判定部と、前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、前記大役遊技の実行中に、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行し得る演出制御部と、を備え、前記大役遊技は、前記大入賞口が開放される複数のラウンド遊技と、前記ラウンド遊技間において前記大入賞口が閉鎖されるインターバル期間とが設けられており、前記演出制御部は、前記インターバル期間において前記示唆演出を実行可能とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、始動口への遊技球の入球に起因して、前記登録設定値に応じた確率で大当たりの当否判定を行う判定部と、前記判定部により大当たりの当選の判定結果が導出された場合に、大入賞口を開閉制御して大役遊技を実行する大役遊技制御部と、前記大役遊技の実行中に、前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行し得る演出制御部と、を備え、前記大役遊技は、前記大入賞口が開放される複数のラウンド遊技と、前記ラウンド遊技間において前記大入賞口が閉鎖されるインターバル期間とが設けられており、前記演出制御部は、前記ラウンド遊技において規定数を超えて遊技球が前記大入賞口に入球するオーバー入賞の報知を実行可能であり、前記オーバー入賞の報知により前記示唆演出を実行可能とする。